

CA Clarity™ PPM

リリース ノート - オンデマンド

リリース 14.2.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により隨時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けて本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、默示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2015 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CAへの連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: CA Clarity PPM 14.2 リリース ノート	7
トレーニング	7
各国語のサポート	7
公開済みの修正	8
アドインの互換性	9
既知の問題および解決された問題	10
解決された問題	10
Java Runtime Environment の問題	10
第 2 章: 新規機能	11
拡張レポートおよびデータ ウェアハウス	11
Microsoft Project のフィールドマッピング管理	13
第 3 章: 拡張された機能	15
ドキュメント	15
Microsoft Project 機能拡張	16
ポートフォリオ拡張機能	17
リソース平均配置率	18
非プロジェクト投資オブジェクト (NPIO) の更新	19
付録 A: 互換性	21
クライアント	21
Clarity Mobile Time Manager	24
変更履歴	24
CA Clarity PPM リリース 14.2.00 での変更点	24
CA Clarity PPM リリース 14.1.00 での変更点	25
CA Clarity PPM リリース 13.3.00 での変更点	25
CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点	26
CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点	27
CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点	27
CA Clarity PPM リリース 13.0.00 での変更点	28

付録 B: アクセシビリティ機能 29

表示	30
音声	30
キーボード	31
マウス	31
キーボードショートカット	32
ユーザのアクセシビリティの設定	36

付録 C: サードパーティソフトウェアに関する通知 37

第1章: CA Clarity PPM 14.2 リリースノート

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[トレーニング \(P. 7\)](#)

[各国語のサポート \(P. 7\)](#)

[公開済みの修正 \(P. 8\)](#)

[アドインの互換性 \(P. 9\)](#)

[既知の問題および解決された問題 \(P. 10\)](#)

[新規機能 \(P. 11\)](#)

[拡張された機能 \(P. 15\)](#)

[互換性 \(P. 21\)](#)

[アクセシビリティ機能 \(P. 29\)](#)

[サードパーティソフトウェアに関する通知 \(P. 37\)](#)

トレーニング

CA Education は CA Clarity PPM についての多くのトレーニングソリューションを提供します。お客様が検討する可能性がある重要な 1 つのコースでは CA Productivity Accelerator (CA PA) について説明します。提供されているトレーニングの詳細については、<http://ca.com/education> の CA Education Web サイトを参照してください。

各国語のサポート

国際化製品とは、必要なオペレーティングシステムおよびサードパーティ製品のローカル言語バージョンで正常に動作する英語版製品です。また、国際化製品は、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語の書式をサポートします。

翻訳済み製品（ローカライズ済み製品とも言います）とは、製品のユーザインターフェース、オンラインヘルプ、その他のドキュメントのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

この製品は完全にローカライズされ、日付、時刻、および数値フォーマットに関する 100 以上の地域設定をサポートします。ユーザ インターフェースは、以下の言語で利用できます。

- ポルトガル語（ブラジル）
- カタロニア語
- チェコ語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- ノルウェー語
- ポーランド語
- ロシア語
- 中国語（簡体字）
- スペイン語
- スウェーデン語
- 中国語（繁体字）
- トルコ語

CA Clarity PPM オンラインヘルプとコンテンツのローカライズバージョンは、製品の一般リリース（General Availability）から 90 日以内に提供されます。

ローカライズされた製品ドキュメントの最新のバージョンは、[CA Support Online の \[ドキュメント\] ページ](#)で入手できます。

公開済みの修正

テクニカルサポートが [CA サポート](#) で提供するソリューションおよびパッチを確認することを推奨します。ユーザはソリューション、パッチ、および製品リリースに必要なすべての前提条件の発行済み修正プログラムを確認できます。

アドインの互換性

このセクションでは、インストールされたアドイン、アクセラレータ、およびコネクタのアップグレードに関する重要な情報について説明します。

- リリース 13.x または 14.1 からこのリリースにアップグレードする場合、展開すると以下のアドインがアップグレードされます。
 - PMO アクセラレータ
 - Clarity ソリューションパック (CSP)
 - Clarity Agile
 - Microsoft SharePoint 用コネクタ
- バージョン 13.0 より前のいずれかのバージョンからこのリリースにアップグレードする場合、インストールされているアドインがすべてアップグレードされます。

以下の表に、リリース 14.2 でインストールされるアクセラレータおよびコネクタのリリースを示します。

アクセラレータまたはコネクタ	アップグレードされたバージョン
PMO アクセラレータ	14.2.0
Clarity ソリューションパック (CSP)	14.2.0
アーンドバリューマネージャ	2.0.2
PRINCE2 用アクセラレータ	2.0.2
PMBOK 用アクセラレータ	2.0.2
新製品開発用アクセラレータ	2.0.3
BRM アクセラレータ	3.0.2
CA Unicenter Service Desk & CA Software Change Manager™ for Distributed 用コネクタ	2.0.1
Microsoft SharePoint 用コネクタ	3.0.0
サービス接続	2.0.0
Catalyst コネクタ	2.5.0
CA Clarity Agile	14.1.0

既知の問題および解決された問題

アクセラレータまたはコネクタ	アップグレードされたバージョン
統合アダプタ	14.1.0
VersionOne コネクタ	14.1.0

既知の問題および解決された問題

既知の問題はナレッジベース記事として扱われます。既知の問題を検索するには、[CA Clarity PPM Support by Product ページ](#)に移動し、「ナレッジベース」タブをクリックして、検索用語として *clarity13open* または *clarity14open* を入力します。

解決された問題

解決された問題については、CA Support Online の[解決された問題のページ](#)を参照してください。

Java Runtime Environment の問題

Java Runtime Environment (JRE) は、CA Clarity PPM のリリース時には不明である問題を含めて、セキュリティに関する問題を解決するために頻繁に更新されます。最新の修正を反映するには、最新の JDK バージョン 7 をダウンロードすることを推奨します。

第 2 章: 新規機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[拡張レポートおよびデータ ウェアハウス \(P. 11\)](#)

[Microsoft Project のフィールドマッピング管理 \(P. 13\)](#)

拡張レポートおよびデータ ウェアハウス

[拡張レポート] では、レポートとして保存し、異なる形式で共有できる、CA Clarity PPM データのアドホック ビューを作成できます。追加するデータを選択することで、各アドホック ビューとそれに対応するレポートを設定できます。レポートは、即時実行するか、またはスケジュールを設定できます。いずれの場合でも、出力方法および形式を制御します。

CA Clarity PPM データ ウェアハウスは、[拡張レポート] 用のメインデータ ソースです。データ ウェアハウススキーマは、特にレポート用に最適化されます。このスキーマには、投資、リソース、ポートフォリオ、タイムシート、およびプロジェクトデータが含まれています。データ ウェアハウスには、CA Clarity PPM データベースからデータ ウェアハウスに関連データをロードするジョブにより、スケジュール設定された間隔でデータが読み込まれます。データ ウェアハウスは、カスタム オブジェクトおよび属性を含めるように拡張できます。

注: 独自のレポート作成ツールがある場合、データ ウェアハウスと合わせて使用することができます。

CA Clarity PPM には、最も使用頻度の高いデータを含むドメインセットが用意されています。アドホック ビューを作成する場合は、利用可能なドメインのリストから選択します。ドメインには、CA Clarity PPM データ ウェアハウスのビジネス ビューが用意されています。ドメインは、ユーザのセキュリティ権限に基づいてデータへのアクセスを制限します。たとえば、ユーザが CA Clarity PPM 内の特定のプロジェクトおよびリソースへのアクセスを許可されている場合、そのユーザは [拡張レポート] ドメイン内の同じプロジェクトおよびリソースにもアクセスできます。製品にカスタム オブジェクトまたは属性を追加すると、これらのカスタム オブジェクトおよび属性もドメインに追加されます。

注: ドメイン内に含まれるデータを表示するには、PMO アクセラレータ アドインに Jaspersoft コンテンツをインストールする必要があります。詳細については、「[PMO アクセラレータ製品ガイド](#)」を参照してください。

ドメインのデータを分析できるように、グラフ、テーブル、およびクロス集計タブの各形式でアドホック ビューを作成します。また、アドホック ビューを使用してレポートを生成し、以下の方法で共有、保存、または表示することもできます。

- 単一のスタンドアロン レポート
- Word、PDF、Excel、PowerPoint ドキュメント、またはその他の形式
- 電子メール添付ファイル

注: [拡張レポート] は、Jasper Reports Server（CA Clarity PPM に統合）を使用して、アドホック ビューおよびレポートを管理します。Jasper Reports Server の詳細については、[Jaspersoft Community](#) の Web サイトを参照してください。

[拡張レポート] とデータ ウェアハウスのインストール、設定、使用の詳細については、「[インストールガイド](#)」、「[管理ガイド](#)」、「[基本機能ユーザガイド](#)」を参照してください。

Microsoft Project のフィールド マッピング管理

まだマップされていない既存の CA Clarity PPM 属性、および [プロジェクト]、[リソース]、[タスク]、[割り当て]、[チーム] の各オブジェクトで Microsoft Project フィールドを持つカスタム属性のみをマップできます。この属性は、以下のデータ タイプのいずれかである必要があります。

- ブール
- Date
- 番号
- ルックアップ文字列
- 文字列

フィールドをマップするには、[管理] を開き、[プロジェクト管理] から、[MSP フィールドマッピング] をクリックします。このページを表示するには管理者権限が必要です。CA Clarity PPM から Microsoft Project に対して、データのインポートまたはエクスポートのみ、あるいはインポートとエクスポートを行うことができます。

フィールドをマップする場合は、以下のビジネス ルールが適用されます。

- [オブジェクトタイプ] および [Clarity 属性 ID] のマッピングがすでに存在する場合は、[作成] または [更新] の操作によりエラーが発生します。
- [オブジェクトタイプ] および [MSP フィールド名] がすでに存在する場合は、[作成] または [更新] の操作によりエラーが発生します。
- [Clarity 属性 ID] を *prUID* に設定した標準設定のマッピングの場合、[作成] または [更新] の操作によりエラーが発生します。
- [Clarity 属性 ID] を *prUID* に設定したマッピングの場合、更新操作で修正できるのは [MSP フィールド名] のみです。たとえば、text3 から text4 に UID のマッピングを変更できます。

第3章：拡張された機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[ドキュメント \(P. 15\)](#)

[Microsoft Project 機能拡張 \(P. 16\)](#)

[ポートフォリオ拡張機能 \(P. 17\)](#)

[リソース平均配置率 \(P. 18\)](#)

[非プロジェクト投資オブジェクト \(NPIO\) の更新 \(P. 19\)](#)

ドキュメント

このリリースで更新された CA Clarity PPM ドキュメントは以下のとおりです。

- **拡張レポート** 新しい CA Clarity PPM ページとして、[CA PPM Advanced Reporting and Database Schema Index] が CA Support Online に追加されました。ページのリンクは、CA Clarity PPM の製品ページにある [Popular Links] の下にあります。

このページには、CA Clarity PPM、データ ウェアハウス、Jaspersoft、および PMO アクセラレータに関する技術情報のリンクが含まれます。

ページを参照するには、以下のリンクをクリックします。

[CA PPM Advanced Reporting and Database Schema Index](#)

注: リンクが示す情報を参照するにはログインする必要があります。

新しいページには以下のドキュメントリンクが含まれます。

- CA Clarity PPM データベース スキーマ

注: 以前のリリースでは、この情報は [テクニカル リファレンス ガイド] に含まれていました。この情報はガイドから削除され、サポートサイトへのリンクは以前の情報の場所に追加されました。

- データ ウェアハウス データベース スキーマ
- データ ウェアハウス ERD 図
- Jaspersoft [拡張レポート] の PMO アクセラレータ
- [拡張レポート] のドメインフィールドの説明
- PMO アクセラレータの概要ガイド

- **Studio 開発者ガイド。** カスタム オブジェクト作成の最後の手順が更新され、リスト ページへの既定のメニュー リンクを編集できるようになりました。以前のドキュメントでは、ユーザがカスタム オブジェクト リスト ページへの新しいメニュー リンクを作成することを推奨していました。列別または機能別にグループ化するグラフ ポートレット データを紹介するために、サンプル画面イメージが追加されました。
- **会計管理ユーザ ガイド。** 「[計画に使用する会計メトリック](#)」トピック内の式および説明のレビューと改善が行われました。
- **リソース管理ユーザ ガイド** 既定の配置率の計算が改善されました。スタッフ配置タスクの実行に関する手順に直接的な変更はありませんが、リソース マネージャはより正確な結果を得られるようになります。このガイドの「[リソース平均配置率](#)」を参照してください。

Microsoft Project 機能拡張

[Microsoft Project 2013 Service Pack 1 サポート](#)

Microsoft Project 2013 Service Pack 1 は、従来の ドライバではなく新しい CA Clarity PPM Microsoft Project ドライバに対してのみサポートされます。

[自動ナンバリングおよびプロジェクト ID](#)

自動ナンバリングが [プロジェクト] オブジェクトに対して設定されると、CA Clarity PPM にプロジェクトを作成および保存した場合、自動ナンバリングが適用されます。 Microsoft Project 内の [プロジェクト ID] フィールドは読み取り専用になります。

[固定単位タスクに対する最大 % 負荷の割り当て](#)

Microsoft Project からプロジェクトを開くか、エクスポートする場合、[Clarity 割り当て'最大 % 負荷'のMSP 割り当てユニットマッピング] オプションを使用すると、[最大 % 負荷] のマッピングのオンとオフを切り替えられます。このオプションを選択すると、Microsoft Project の単位が CA Clarity PPM の [最大 % 負荷] 値に基づいてマップされます。このオプションをオフにすると、Microsoft Project のプロジェクトを開いた日付のスタッフ配置率を使用してマップされます。

このオプションを設定するには、[管理] を開き、[プロジェクト管理] から、[設定] をクリックします。

CA Clarity PPM にプロジェクトを保存またはインポートする場合は、この設定に関係なく、[Clarity 割り当て'最大%負荷'のMSP 割り当てユニットマッピング] の値が [最大%負荷] に常に書き込まれます。

ポートフォリオ拡張機能

ポートフォリオ投資に対する制限

このリリース以降、ポートフォリオ内に設定できる投資数の上限がなくなりました。その結果、ポートフォリオに多くの投資を定義できるようになりました。CA Technologies は、各ポートフォリオの投資数を管理できるようにするコンテンツのパワーフィルタ基準を定義することをお勧めします。

注: ポートフォリオに設定する投資数が多いほど、[ポートフォリオ同期] ジョブの実行およびウォーターライン ビューの合計数の計算にかかる時間が長くなります。

ウォーターラインの保留中の編集

ポートフォリオの [ウォーターライン] ビューに加えた変更は、保留中の編集として保存されるようになりました。完全に保存するか、破棄するまで、この編集は一時的に保存されます。ビューから移動しても、またはセッションを閉じても、再度ログインするまで保留中の編集は保存されます。ビューに戻ると、保留中の編集を保存または破棄することもできます。

変更の破棄

これは [ウォーターライン] ビューの新しいボタンで、保留中の編集を永続的に保存しない場合、その編集を破棄できます。ビュー上に保留中の編集がある場合は、ボタンが有効になります。

ウォーターラインビューナビゲーションの改善

[ウォーターライン] ビューを両方向に無限にスクロールし、投資の全リストを表示できるようになりました。投資のリストは、バッファされたビューで連続的に更新されるため、ページの区切りはありません。一度に 150 の投資がビュー上に表示されます。

ウォーターラインのドラッグ アンド ドロップの強化

[ウォーターライン] ビューの新しい場所に投資をドラッグ アンド ドロップする場合、ドロップ対象、および緑のチェックマークアイコンで選択された行の数が、ツールヒントに表示されます。リストの一番上または一番下にいる場合は、アイコンが、線の付いた赤色の丸に変わります。

ポートフォリオ投資の同期ジョブの変更

このリリース以降、[ポートフォリオ投資の同期] ジョブの実行中に追加されるポートフォリオ投資の数が 1,000 以上の場合、アラートが表示されるようになりました。アラートは、タイプ別に投資数を分割し、同期を継続するかどうかを確認します。

追加されるポートフォリオ投資のしきい値 (1,000) を超えた場合のみ、アラートが表示されます。[今すぐ同期] ボタンでジョブを開始しても、アラートがトリガされます。

リソース平均配置率

既定のリソース配置率の計算用ビジネスロジックが改善されました。投資の代わりに、チームメンバーの開始日と終了日を使用して、平均配置率および利用可能時間の合計を計算します。

注: この変更は、カスタムメトリックおよびその他の計算に影響を与える可能性があります。

拡張機能を説明するために、8月5日から9月13日までの6週間のプロジェクトを作成し、3つのリソースからなるチームを配置します。

- a. 最初のリソースの [チーム] リストで、終了日を 8月 17 日（2週間、80 時間）に、[既定の配置] を 50 パーセントに変更します。配置は予定どおりの 40/80 または 50 パーセントになります。
- b. 2つ目のリソースについては、終了日を 8月 17 日（2週間、80 時間）に変更し、[既定の配置] を 50 パーセントに変更します。8月 18 日から 30 日（2週間、80 時間）の間で 100 パーセントの配置のセグメントを追加します。
 - 以前のリリースでは、配置を 120 (40 + 80) と計算し、プロジェクト全体の期間のリソースに対する平均配置率を提案していました。つまり、配置率は、プロジェクト期間の合計時間である 240 (6 週間 × 40 時間 = 240) に対して 50 パーセントを適用します。
 - このリリース以降は、配置を 120 時間と計算しますが、平均配置はより正確な 75 パーセントになります。リソースに対する期間は、6 週間ではなく、ちょうど 4 週間です。合計 160 時間で 120 時間を割ると、平均配置は 75 パーセントになります。
- c. 3つ目のリソースについては、終了日を 8月 17 日（2週間、80 時間）に変更し、[既定の配置] を 50 パーセントに変更します。8月 5 日から 17 日の配置を 100 パーセントに指定してこのセグメントを調整します。
 - 以前のリリースでは、2 週間の配置を 40 時間と計算しますが、平均配置は 16.7 パーセント (40/240) となります。
 - このリリースで新しい点は、配置は同じように 40 時間と計算しますが、平均配置は 50 パーセント (40/80) になります。

非プロジェクト投資オブジェクト(NPIO)の更新

NPIO (プログラム、アプリケーション、資産、製品、およびその他の作業) に対する更新は以下のとおりです。

[アーンドバリュー合計の更新]ジョブの強化機能

[アーンドバリュー合計] ジョブの名前が、追加機能を反映するよう [アーンドバリュー合計の更新] に変更されました。このジョブは、プロジェクトのアーンドバリューとコストおよび NPIO のコストを計算します。プロジェクトまたは NPIO は、「ジョブプロパティ」ページの [投資] 参照フィールドを使用して選択できます。

[投資スタッフ] ページの新しいオブジェクトアクション

新しいオブジェクトアクション [コスト合計の更新] が、すべてのプロジェクトおよび NPIO スタッフリストと詳細ページで利用できるようになりました。このオブジェクトアクションは、配置およびハード配置のコストを計算します。また、チームデータプロバイダに応じたカスタムポートレット上でこのコストを選択することもできます。さらに、スタッフのリストおよび詳細ページでは、配置コストおよびハード配置コストを表示することもできます。

タイムスライスの変更

新機能を反映するために、以下のタイムスライスの追加または名前の変更が行われました。

追加:

割り当て::ETC コスト

名前の変更:

割り当て::実コスト (以前の割り当て::実コスト カーブ)

チーム::配置コスト (以前のチーム::配置コスト曲線)

チーム::ハード配置コスト (以前のチーム::ハード配置コスト曲線)

付録 A: 互換性

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[クライアント \(P. 21\)](#)

[Clarity Mobile Time Manager \(P. 24\)](#)

[変更履歴 \(P. 24\)](#)

クライアント

以下の表に、CA Clarity PPM にアクセスするクライアントコンピュータ用にサポートされているソフトウェアを示します。

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Windows XP Professional : SP 3 以上■ Microsoft Windows 7 SP1 32 ビットおよび 64 ビット、全エディション■ Microsoft Windows 8.1、32 ビットおよび 64 ビット	<ul style="list-style-type: none">■ Mac OS X: リリース 10.9.1 またはそれ以上のパッチ レベル	<ul style="list-style-type: none">■ 「Web ブラウザ」セクションにリストされているブラウザをサポートするすべてのベンダーまたはバージョン。

既知の問題および解決された問題

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Internet Explorer 10.0 および 11.0 ならびにそれ以上のパッチ レベル (Microsoft Windows 7 および 8.1)■ Microsoft Internet Explorer 9.0 およびそれ以上のパッチ レベル■ Microsoft Internet Explorer 8.0 およびそれ以上のパッチ レベル³⁾■ Firefox 30.0 およびそれ以上のリリース²⁾■ Firefox ESR 24.2.0 およびそれ以上のパッチ レベル²⁾■ Google Chrome 35 またはそれ以上のリリース²⁾	<ul style="list-style-type: none">■ Safari 7.0 およびそれ以上のパッチ レベル■ Firefox 30 およびそれ以上のリリース²⁾	<ul style="list-style-type: none">■ Firefox 30 およびそれ以上のリリース²⁾

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
クライアントアプリケーション¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Excel 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション ■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション ■ Microsoft Project 2010 SP2、2013、および 2013 SP1 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション⁸⁾ ■ Java 7 Runtime Environment: 1.7 update 45 またはそれ以上のアップデート レベル⁴⁾ ■ Adobe Flash Player 11.9 またはそれ以上⁵⁾ ■ Adobe Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上⁶⁾ ■ CA Open Workbench 2.1.2 ■ Crystal Reports 2013 Designer Client SP5⁷⁾ ■ Jaspersoft Studio 5.6.1 Designer client⁷⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Office Excel 2011 ■ Adobe Flash Player 11 またはそれ以上⁵⁾ ■ Mac OS Preview PDF ビューア⁶⁾ ■ Microsoft Project へのサポートなし ■ CA Open Workbench へのサポートなし ■ Crystal Reports Designer へのサポートなし 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Adobe Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上⁶⁾ ■ Adobe Flash Player 11 またはそれ以上⁵⁾ ■ Excel エクスポートへのサポートなし ■ Microsoft Project へのサポートなし ■ CA Open Workbench へのサポートなし ■ Crystal Reports Designer へのサポートなし
サードパーティ SOAP 統合ツールキット	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Visual Studio 2013 (.NET Framework 4.5.1) ■ Apache AXIS 1.6 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache AXIS 1.6 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache AXIS 1.6

メモ:

- ¹⁾ 複数バージョンのサードパーティ ソフトウェアの同時使用は、非同期および互換性の問題を引き起こす可能性があるため、サポートされていません。CA Technologies は、ベンダーがサポートするサードパーティ ソフトウェアのバージョンのみをサポートします。

既知の問題および解決された問題

- ²⁾ Firefox および Chrome の新しいリリースは、リリース後の最小限のテストだけでサポートされている場合があります。Google Chrome バージョン 29 および 30 には CA Clarity PPM での既知の問題があるため、バージョン 32 またはそれ以上を使用することを推奨します。
- ³⁾ IE 8.0 およびそれ以上のパッチ レベルのサポートは、CA Clarity PPM r14.2 後のリリースで終了します。
- ⁴⁾ Open Workbench、CA Clarity PPM Microsoft Project インターフェース、および XOG クライアントに必要。
- ⁵⁾ Xcelsius ダッシュボード表示用。
- ⁶⁾ CA Clarity PPM インストール ガイド、技術マニュアル、ユーザ ガイド、およびオンライン レポートを読むために必要です。
- ⁷⁾ カスタム レポート開発にのみ必要。
- ⁸⁾ Microsoft Project 2013 Service Pack 1 は、新しい CA Clarity PPM Microsoft Project ドライバでのみサポートされる予定です。

Clarity Mobile Time Manager

以下の表に、Clarity Mobile Time Manager アプリケーションに対してサポートされているモバイル オペレーティング システム プラットフォームを示します。

	iOS	Android
モバイル オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">■ Apple iOS 7.0 またはそれ以上	<ul style="list-style-type: none">■ Google Android OS 4.0 またはそれ以上

変更履歴

CA Clarity PPM リリース 14.2.00 での変更点

コンポーネント	説明
モバイル オペレーティング システム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none">■ 変更はありません
クライアント ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">■ 変更はありません

コンポーネント	説明
クライアントアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新しい Microsoft Project ドライバに対してのみ Microsoft Project 2013 SP1 のサポートを追加しました。

CA Clarity PPM リリース 14.1.00 での変更点

コンポーネント	説明
モバイルオペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apple iOS 6 のサポートを終了しました
クライアントブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox、Chrome および Safari ブラウザの新リリースのサポートを更新しました。
クライアントアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ 変更はありません

CA Clarity PPM リリース 13.3.00 での変更点

コンポーネント	説明
モバイルオペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apple iOS 6.1.4 および iOS 7 のサポートを追加しました ■ Google Android OS 4.2.2 (Jelly Bean) のサポートを追加しました
クライアントブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows 用の Firefox 19.0.2 22 のサポートを追加しました ■ Microsoft Windows 用の Google Chrome 31.x.x.x のサポートを追加しました また、バージョン 29、30、および 31 での既知の問題に関する脚注を追加しました ■ Apple Mac OS 用の Safari 6.0.52 のサポートを追加しました ■ Adobe Flash Player バージョン 11 のサポートを追加しました
クライアントアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Project 2007 のサポートを終了しました ■ CA Open Workbench 2.1.1 のサポートを追加しました ■ CA Open Workbench 2.1 のサポートを終了しました

CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点

コンポーネント	説明
モバイルオペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none">■ Apple iOS 6.0 およびそれ以上のサポートを追加しました。■ Google Android 4.0 (Ice Cream Sandwich) およびそれ以上のサポートを追加しました。
クライアントブラウザ	<p>注: CA Technologies では、関連するサードパーティベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none">■ Firefox 19.0.2 のサポートを追加しました。■ Firefox ESR 17.0.4 のサポートを追加しました。■ Firefox ESR 10.0.5 のサポートを終了しました。■ Microsoft Internet Explorer 10 (Windows 8 のみ) のサポートを追加しました。■ Chrome 25.0.1364.172m のサポートを追加しました。■ Apple Safari 6.0.2 (Mac OS X 10.8.2 またはそれ以上で使用) のサポートを追加しました。
クライアントアプリケーション	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Project 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。■ Microsoft Excel 2010-2013 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。■ CA Open Workbench 2.1 のサポートを追加しました。■ CA Open Workbench 2.0 のサポートを終了しました。

メモ:

- ¹⁾ このサポートの対象は Clarity Mobile Time Management アプリケーションのみです。

CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<p>注: CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox ESR 10.0.5 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。 ■ Firefox 13.0 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。 ■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。 ■ Chrome 18.0.1.25.152m 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。
クライアント アプリケー ション	<ul style="list-style-type: none"> ■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。 ■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。 ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。 ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox 10.0 のサポートを追加しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。 ■ Firefox 3.6 のサポートを追加しました。 ■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM リリース 13.0.00 での変更点

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">■ IE 9.0 のサポートを追加しました。■ IE6 および IE7 のサポートを中止しました。■ Firefox 8.0 のサポートを追加しました。■ Safari 5.1.1 のサポートを追加しました。
クライアント アプリケーション	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Project 2000、2002 および 2003 のサポートを中止しました。■ Crystal Reports デザイナ 2008 のサポートを、SP3 またはそれ以上（サービスパックではなく）と定義しました。
SharePoint Server	<ul style="list-style-type: none">■ SharePoint Server 2010 のサポートを追加しました。■ SharePoint Server 2007 のサポートを中止しました。

付録 B: アクセシビリティ機能

CA Technologies は、すべてのお客様が弊社の製品およびサポートドキュメントを正しく使用してビジネス業務を遂行できるよう、全力を尽くしています。アクセシビリティモードを有効にすると、支援を必要とするユーザー向けに、ユーザインターフェースのコントラストを最適化し、スクリーンリーダーをアシストします。

CA Clarity PPM のアクセシビリティ機能は、Mozilla Firefox 13 ブラウザおよび Job Access With Speech (JAWS) スクリーンリーダーと一緒に使用したときに最高の機能を発揮します。

CA Clarity PPM は、以下の領域において Windows ベースおよび Macintosh ベースの環境からアクセシビリティ拡張機能を継承します。

- 表示
- 音声
- キーボード
- マウス

注: 以下のトピックの情報は、Windows ベースおよび Macintosh ベースのアプリケーションに適用されます。Java アプリケーションは多数のホストオペレーティングシステムで実行されており、これらのシステムの一部にはすでに Java アプリケーションで使用可能な支援テクノロジがあります。これらの既存の支援テクノロジで、JPL で記述されたプログラムへのアクセスを提供するには、ネイティブ環境における支援テクノロジ自体と、Java 仮想マシン (Java VM) 内から使用可能な Java Accessibility サポートとの間のブリッジが必要です。このブリッジは、両端が Java VM とネイティブオペレーティングシステムであるため、ブリッジ先のプラットフォームごとに若干異なります。Oracle では現在、このブリッジの JPL 側と Win32 側の両方を開発しています。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [表示 \(P. 30\)](#)
- [音声 \(P. 30\)](#)
- [キーボード \(P. 31\)](#)
- [マウス \(P. 31\)](#)
- [キーボードショートカット \(P. 32\)](#)
- [ユーザのアクセシビリティの設定 \(P. 36\)](#)

表示

コンピュータ画面の表示を見やすくするには、以下のオプションを調整します。

フォントスタイル、色、およびアイテムのサイズ

フォントの色、サイズ、その他の表示の組み合わせを選択できます。

画面の解像度

ピクセル数を変更して、画面上でオブジェクトを拡大できます。

カーソルの幅および点滅速度

カーソルを見つけやすくしたり、点滅速度を最小化したりできます。

アイコンのサイズ

アイコンを大きくして見やすくしたり、アイコンを小さくして画面のスペースを増やしたりできます。

高コントラストの配色

見やすい色の組み合わせを選択できます。

音声

画像の代わりに音声を使用するか、またはコンピュータサウンドを聞きやすくしたり区別しやすくしたりするには、以下のオプションを調整します。

音量

コンピュータサウンドの音量を上げたり下げたりできます。

音声変換

音声で読み上げたコマンドオプションやテキストを聞くことができます。

警告

警告を視覚的に表示します。

通知

アクセシビリティ機能が有効または無効になったときに、聴覚的または視覚的な合図を送ります。

スキーム

コンピュータのサウンドと特定のシステムイベントを関連付けることができます。

キャプション

スピーチおよびサウンドのキャプションを表示できます。

キーボード

以下のようにキーボードを調節できます。

表示の間隔

キーを押したときにどのくらいの速度で文字を繰り返すかを設定できます。

トーン

特定のキーを押したときに音が鳴るようにできます。

ステイッキー キー

片手または1本の指で入力するユーザは、別のキーボードレイアウトを選択できます。

マウス

以下のオプションを使用して、マウスの動作を速くしたり使いやすくしたりできます。

クリック速度

選択するときのマウスボタンのクリック速度を選択できます。

クリック ロック

マウスボタンを押したままにしなくても強調表示したりドラッグしたりできます。

アクションの入れ替え

マウスの左ボタンで制御される機能と右ボタンで制御される機能を入れ替えることができます。

点滅速度

カーソルの点滅速度を選択したり、点滅させるかどうかを選択したりできます。

ポインタのオプション

以下の操作を実行できます。

- 入力中のポインタの非表示
- ポインタ位置の表示
- ポインタが画面を移動する速度の設定
- 見やすくするためのポインタのサイズおよび色の選択
- ダイアログ ボックス内のデフォルト位置へのポインタの移動

キーボード ショートカット

以下の表では、すべての CA Clarity PPM ページで利用可能な基本機能のキーボード ショートカットについて説明します。

フィーチャー	キーの組み合わせ
ホーム メニュー	Ctrl+Alt+h
管理メニュー	Ctrl+Alt+a
お気に入りメニュー	Ctrl+Alt+f
戻る	Ctrl+Alt+b または Alt+ 左方向キー
ホーム ページ	Ctrl+Alt+Home
更新	Ctrl+Alt+F5
検索	Ctrl+Alt+s
履歴	Ctrl+Alt+v
ヘルプ	F1

CA Clarity キーボード ショートカット(アクション)

以下の表では、CA Clarity PPM ページ上のアクションのキーボードショートカットについて説明します。

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティキーの組み合わせ
フィールドエディタの有効化 (たとえば日付ピッカー等)	Enter	Alt+Enter
ポップアップを閉じる	Esc	Shift+Esc
タブメニューを開く	Enter	Alt+Enter
メニューで左、右、上、または下に移動	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー	Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー
ハイライトされたメニューアイテムの選択	Enter	Alt+Enter
リストページのリンクを開く	Ctrl+Enter	
チェックボックスのオン/オフ <i>注:</i> チェックボックスにフォーカスがある必要があります。	スペースキー	
階層リストの展開 <i>注:</i> 階層リストの + にフォーカスがある必要があります。	スペースキー	

CA Clarity キーボード ショートカット(リスト)

以下の表では、リストのキーボードショートカットについて説明します。

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
リスト内の編集と表示モード間の切り替え	表示、編集	Enter

既知の問題および解決された問題

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
リスト（グリッド）内のセルからセルへの移動	表示	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー
リスト内の別のエリアへの移動： ポートレットアイコン、列ヘッダ、リストの本文、ボタン	表示	Tab (転送) Shift+Tab (戻る)
表示モードへの切り替え	編集	Esc または Enter
セル内での左または右への移動	編集	左方向キー 右方向キー
編集可能なセルから編集可能なセルへの移動	編集	Tab (転送) Shift+Tab (戻る)
行の最後に移動	編集	Ctrl+ 右方向キー
注: TSV 行でのアクションの場合は、 キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。		
行の先頭に移動	編集	Ctrl+ 左方向キー
ページを上または下に移動	表示、編集	Ctrl+Alt+ 上方向キー Ctrl+Alt+ 下方向キー
リストの一番上または一番下に移動	表示、編集	Ctrl+ 上方向キー Ctrl+ 下方向キー
注: TSV セル内のアクションの場合は、 キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。		
ドロップダウンリストまたは日付セレクタを開く	編集	Enter
ドロップダウン内の選択項目を移動	編集	上方向キー 下方向キー
ドロップダウンまたは日付セレクタ内のハイライトされた値の選択	編集	Enter
日付セレクタ内の日付のハイライト	編集	下方向キー
長いテキストエリアでの新しいラインの追加	編集	Ctrl+Enter

期間単位セルのキーボードショートカット

以下の表に、リスト内の期間単位セルのキーボードショートカットを示します。

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティキーの組み合わせ
TSV 行の選択	Shift+Ctrl+ 右方向キー	
TSV 列の選択	Shift+Ctrl+ 下方向キー	
現在のセルの左または右の単一セルの選択	Shift+ 右方向キー Shift+ 左方向キー	
現在のセルの上または下の單一行の選択	Shift+ 上方向キー Shift+ 下方向キー	
TSV セルのコピー	Ctrl+c	
TSV セルの貼り付け	Ctrl+v	
TSV セルの切り取り	Ctrl+x	
切り取り、コピー、または貼り付け 操作の取り消し	Ctrl+z	
Excel から TSV セルへのコピー	Ctrl+c および Ctrl+v	

ユーザのアクセシビリティの設定

ユーザのアクセシビリティを設定するには、以下の手順に従ってください。

以下の手順に従います。

1. [管理] を開き、[組織とアクセス] から [リソース] をクリックします。
2. リソースの名前をクリックします。
[プロパティ] ページが表示されます。
3. 適切な [アクセシビリティ] チェックボックスをオンにします。

スクリーンリーダー最適化 UI

スクリーンリーダーがよりよく機能を認識できるように、ユーザインターフェースが最適化されるかどうかを決定します。スクリーンリーダーを使用している視覚障害のあるすべてのユーザのために、このチェックボックスをオンにします。

既定値：オフ

ハイコントラストの色モード

色覚障害のあるユーザを補助する特別な UI テーマを使用するかどうかを決定します。選択すると、ユーザにはハイコントラストの UI テーマが表示されます。

既定値：オフ

4. 変更を保存します。
5. (オプション) [スクリーンリーダー最適化 UI] を選択した場合は、スクリーンリーダーソフトウェアがコンピュータ上で実行されていることを確認してください。
6. ユーザが CA Clarity PPM にログインすると、一旦ログアウトしてログインし直すよう指示されます。

付録 C: サードパーティソフトウェアに関する通知

CA Clarity PPM で使用するサードパーティ製ユーティリティおよびソフトウェアのライセンス情報は、マニュアル選択メニューの [TXT の表示] リンクをクリックして、入手できます。